

(別添 1)

No.	10
策定年月	令和5年6月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画

群馬県

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

主食用米の需要が年々減少する中、需要に応じた米作りの推進に加え、高収益作物等への転換を進めることが重要である。そこで、本県では、地域農業再生協議会等の関係機関と連携し、令和4年の補正予算および令和5年当初予算により措置された畑地化促進事業（畑地化支援助成）を活用して、水田における高収益作物への転換と定着を支援し、農業者の所得向上を目指す。

また、群馬県農業農村基本計画2021-2025では、農業産出額を令和元年の2,361億円から令和7年には2,600億円に増加させることを目標に掲げており、この達成のためにも、本計画を策定し、水田農業の高収益化を推進する。

具体的な品目としては、「野菜王国ぐんま推進計画2020」に重点品目および地域推進品目に位置付けられている野菜類（きゅうり、トマト、なす、いちご、キャベツ等）や、花き類（コギク、スプレーギク）や本県の特産品目であるコンニャク等の、水稲からの転換により所得の向上が期待できる品目を中心に、地域の特性や実情に応じて導入を図る。

2. 目標

(1) 推進方針

県・市町村等の関係部局、県・地域農業再生協議会、各JA等が連携し、畑地化促進事業（畑地化促進助成）の活用を促し、高収益作物への転換と定着を目指す。また、生産技術指導や経営指導を行い、産地推進計画を設定した各産地の面積、収量、販売額の増加を目指す。

(2) 推進品目

品目名	用途	露地 ／ 施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
いちご	生食	施設	野菜王国ぐんま推進計画2020における重点推進8品目に位置付けられており、県全体で推進している品目であり、生産・販売の支援体制が整っている。	0.65 ha (令和4年)	0.66 ha (令和9年)	5,000 kg/ 10a (令和4年)	5,500 kg/ 10a (令和9年)	40,268 円 (令和4年)	44,976 円 (令和9年)		
ほうれんそう	生食	露地	野菜王国ぐんま推進計画2020における重点推進8品目に位置付けられており、県全体で推進している品目であり、生産・販売の支援体制が整っている。	0.00 ha (令和4年)	0.46 ha (令和9年)	1,200 kg/ 10a (令和4年)	1,200 kg/ 10a (令和9年)	0 円 (令和4年)	2,783 円 (令和9年)		
えだまめ	生食	露地	野菜王国ぐんま推進計画2020における地域推進品目に位置付けられており、地域内で推進している品目であり、生産・販売の支援体制が整っている。	0.35 ha (令和4年)	0.84 ha (令和9年)	600 kg/ 10a (令和4年)	600 kg/ 10a (令和9年)	2,090 円 (令和4年)	5,015 円 (令和9年)		
				ha (令和4年)	ha (令和9年)	kg/ 10a (令和4年)	kg/ 10a (令和9年)	千 円 (令和4年)	千 円 (令和9年)		
				ha (令和4年)	ha (令和9年)	kg/ 10a (令和4年)	kg/ 10a (令和9年)	千 円 (令和4年)	千 円 (令和9年)		

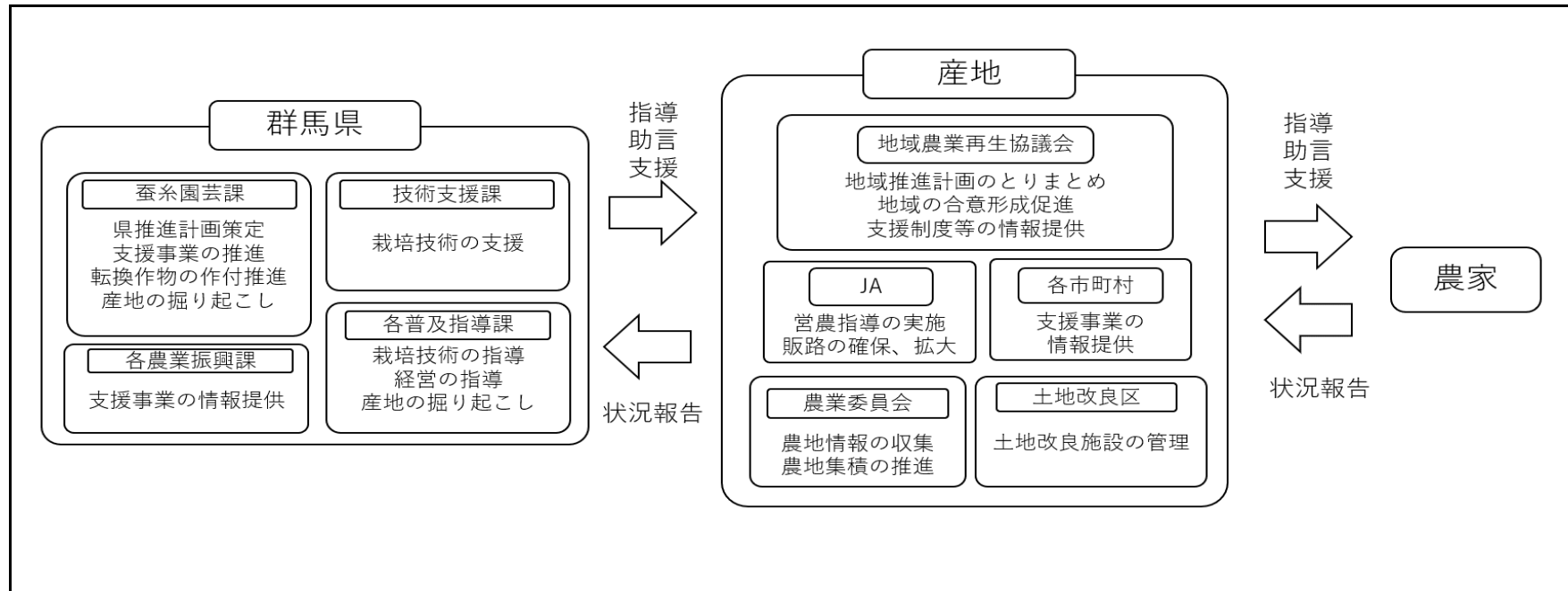
※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。

※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できないなどの観点にも留意して記載する。（関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求めることがある。）

※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

関係機関や農家に対して、畑地化促進事業（畑地化促進助成）についての説明の場を設けるほか、国の作成した資料・チラシを活用して制度の周知と理解促進を図り、水田に高収益作物を導入・拡大する産地を掘り起こす。また、収量および販売額については、適切な病害虫防除、効果的な施肥や灌水について、普及指導員やJAの営農指導員と連携して技術指導を行う。また、産地の実情やニーズに応じて、環境制御技術をはじめとしたスマート農業の活用支援を行う。

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
いちご	共通の取組のとおり	天敵等を活用したIPM技術の推進。収量と品質の向上を目的とした環境制御技術の普及。	収量および作付面積の増加による販売額の向上を目指す。栽培技術の高位平準化による食味のバラツキ改善。	
ほうれんそう	共通の取組のとおり	病害抵抗性品種の導入と耕種的防除技術の普及。高温期・低温期の生産安定技術の確立。	作付面積の増加による販売額の向上を目指す。適期収穫、適正な出荷調整等による荷姿の向上と鮮度保持対策の推進。	
えだまめ	共通の取組のとおり	他作物や緑肥等との輪作導入による土壌病害虫対策の推進 計画的な作付による出荷量の確保 作期別適品種の選定と安定生産の推進	作付面積の増加による販売額の向上を目指す	

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	太田市農業再生協議会	太田市	

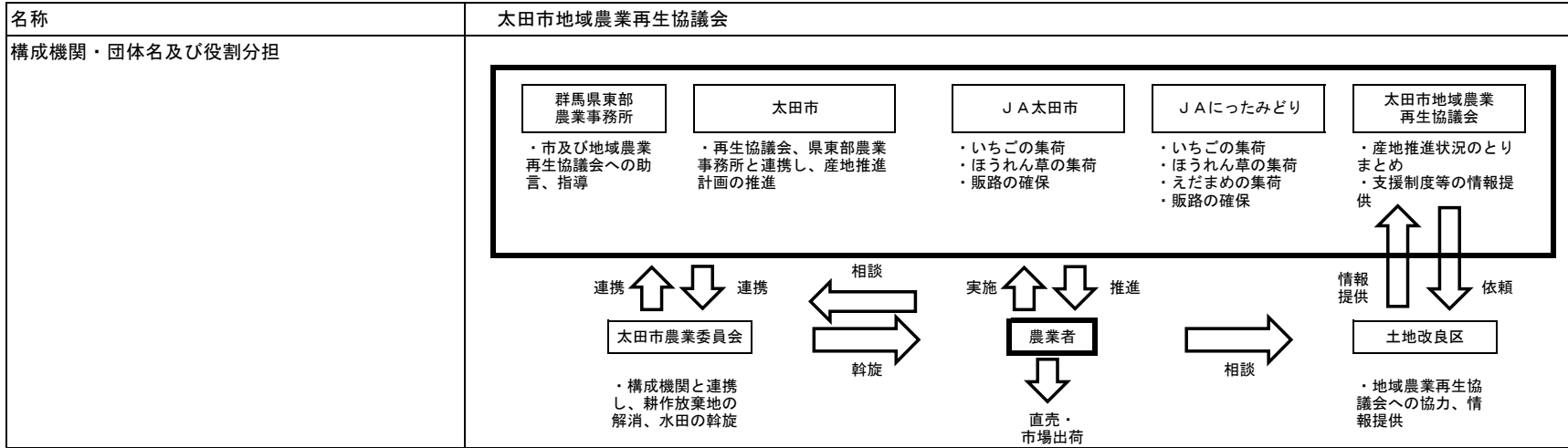
※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

(別添2)

No.	1
策定年月	令和5年6月
見直し年月	令和 年 月

水田農業高収益化推進計画 太田市産地推進計画

1 計画作成主体の情報



2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
いちご	生食用	施設	JA太田市	0.65 ha (令和4年)	0.66 ha (令和9年)	5,000 kg/10a (令和4年)	5,500 kg/10a (令和9年)	40,267,500 円 (令和4年)	44,975,700 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)
ほうれんそう	生食用	露地	JA太田市	0.00 ha (令和4年)	0.46 ha (令和9年)	1,200 kg/10a (令和4年)	1,200 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和4年)	2,782,080 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)
えだまめ	生食用	露地	JA太田市 JAにっただみどり	0.35 ha (令和4年)	0.84 ha (令和9年)	600 kg/10a (令和4年)	600 kg/10a (令和9年)	2,089,500 円 (令和4年)	5,014,800 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。